



西小学校 6年
せきの そうま
関野 壮真 さん

食料自給率を上げるためにできること

皆さんは、日本の食料自給率がどれだけ低いかわっていますか。僕は授業で37パーセントだと知り驚きました。そして、外国に頼りすぎていくとよくない面があることも学びました。そこで、日本の食料自給率を上げるためにできることはないだろうかと考えました。

まず家での食事について考えました。調べてみたところ、毎日パンを食べている人が50パーセントいることが分かりました。パンの原材料の小麦は、日本が輸入に頼っている物の一つです。しかし、小麦の代わりに日本で栽培している米を細かく砕いて粉状にした「米粉」を使ったパンが売られていることを知りました。

次に僕は、給食のことを栄養士の先生に聞いてみました。給食では、安心のため主に国産の食材を使っている、ご飯や日本の食材をたくさん食べてほしいという願いから和食を多く取り入れているということでした。

このように考えてみて、僕はなるべく地元の食品を買うこと、米粉のパンを探すことをしてみたいと思います。地元の野菜を買ったり、旬の食材を意識して使ったり、一人一人が意識していくことで大きく変わるのではないかと考えます。



東中学校 3年
そがべ ひなた
曾我部 暖太 さん

ボランティア活動から考えたこと

ゴールデンウィーク最終日、平井区の公民館で行われた花植えボランティアに参加しました。落ち葉掃きをするなかで、幼いころにはよく見えた小さな生き物を見つけ、僕はボランティア活動と自然について3つのことを考えました。

1つ目は、子どもたちが自然に触れる機会を増やすために、植樹や花植えなどのボランティア活動を増やしたらどうか、ということでした。ボランティアをすることで、勤労・奉仕の大切さや、生き物への興味・愛護を学んだり、自然を体験したりできると思います。2つ目は、自然は深い学びにつながるということです。教科書で学んでいることを実際に目で見て、その場に行くと肌で感じられれば、知らなかったことに気が付き、より深い学びができると思います。3つ目は、自然は函南町の重要な観光資源と環境保全になるということです。町の豊かな自然を活用し、人と自然との関わり方を考えるエコツーリズムを行うことで町の利益と環境保全の両立につながると思います。

ボランティアに参加したことで、自然や地域のことを考えることができました。僕は自分自身の感動のためにこれからも参加していこうと思います。それが将来、函南町への貢献につながると思っています。



函南中学校 3年
にしはら まこと
西原 万琴 さん

選挙ははじめての一步

2022年4月から、成人年齢が20歳から18歳に引き下げられました。中学生の私たちは、3年後に大人としての責任を背負うこととなります。その責任の中で、私が一番興味を持っているのは選挙権です。

しかし、最近投票率が低下していると聞きます。特に若者の選挙への関心の低さはニュースなどでも伝えられています。日本は少子高齢化が進み、投票率は高齢者のほうが多いと考えられます。必然的に政治家の公約は高齢者の求めるものとなり、若者の意見が取り入れられにくくなっていくかもしれません。このような事態を避けるためにも、若者の意見を聞き逃してはならないことを候補者に伝えることが必要です。これは、一人一人が行動に移さなくては変わっていきません。

私たちは身近に迫った問題に関心を寄せ、改善に向けた取り組みについて考えているでしょうか。選挙は私たちにとって、目の前にある問題に向き合う大きなチャンスです。一人一人が行動に移すことで、大きな流れを作り、現状を変えていくことができると思います。選挙は社会に目を向けるはじめての一步。そう思っって3年後を迎えられる自分になりたいです。



田方農業高校 3年
あさか ゆき
朝香 友稀 さん

新たな技術と国の花

「高貴」、「高潔」これらの花言葉を持つ花は、われらが国花、菊である。私が所属するフラワーコースでは、2年生の総合実習で菊の栽培を行う。菊の管理には特殊な作業はなく、比較的育てやすいが、日々の積み重ねが必要となる。管理は約半年行われ、ちょうど田農祭のころに満開となる。

菊は、皇族にも使われている伝統的な花だが、仏花としての需要が多くマイナスのイメージがあった。そんな菊に、楽寿園での展示の話が舞い込んできた。しかし、田農祭と日程が重なっていたため展示は見送られ、代わりに花卉培養した菊の苗を提供することとなった。花卉培養とは、田農で行っている植物バイオという親株の細胞から完全な植物体を作り出す実験の一つである。成功すれば花卉1枚からでも立派な菊を育てることができるとの。伝統的な花も最新鋭の技術でだんだんと生まれ変わっている。それでも変わらない何かがあつて、伝統は受け継がれていくのだ。

菊は私がかけた時間を映し出すかのように佇んでいた。私はこの半年間を忘れない。私が毎日菊に時間を割いたように、自分自身にコツコツと時間を積み重ねられたら、私もあの菊のように堂々と咲ける日が来るかもしれないから。我々が国花に最大の敬意を。

三島地区更生保護女性会長賞



東小学校 6年
えど うな
江戸 有那 さん

三島地区保護司会長賞



東中学校 3年
にとう さきな
仁藤 咲夏 さん

校長会長賞



西小学校 6年
すずき りくと
鈴木 陸斗 さん

社会福祉協議会長賞



函南小学校 6年
たけうち あやみ
武内 彩弥 さん

教育長賞



函南中学校 2年
はたけやま みさと
畠山 美里 さん

議会議長賞



函南小学校 6年
やまぐち ゆいな
山口 結菜 さん

町長賞



東中学校 2年
きうち りの
木内 梨乃 さん

第72回
社会を明るくする運動ポスター
特選作品